

市長 確かに、これ！という定番のお土産や観光ルートをつくるのが大事ですね。



坪水 麻美さん

坪水さん 鹿屋に来た時には「花岡胡椒」を買うようにしています。もっと広まって欲しいのですが。

篠原さん 味噌としょう油はやっぱり鹿屋のものがいいなと思いますね。

市長 鹿屋の魅力が皆さんたちに伝わるには、どのように情報発信すれば良いでしょうか。

鹿屋の魅力が伝わる 情報発信について

坪水さん ティックトック
TikTokが若い女性にとつてはライトで、話題になる可能性を秘めていると思います。

上船さん Instagramと、TikTokが若い人の中では主流で、特にTikTokが情報としては目に入りやすいと思います。

松谷さん 観光の面と言うと、「特別な体験ができる」観光地を求めている人が多いです。東京の観光案内所と

かに情報を届けるのが効果があると思います。

篠原さん 他にもLINE等のSNSを活用して話題になるような情報発信が大事だと思います。

宮園さん SNSと情報誌だと思います。Instagramの※リールやストーリー等を活用した広告が目につけるきっかけになると思います。

※動画で投稿する機能

若者と女性に選ばれる まちになるには

上船さん かのやばら園や、観光地への導線をもっとピンポイントに強化するのはどうでしょうか。市外から来た人に良い印象を与えることが大事だと思います。



上船 風さん

松谷さん 1つは、鹿屋は人の集まる拠点がスポットで点在していて、何か事業をするにしても継続性の面でなかなか難しいという点。もう1つは、地元で「価値観の合う男女の出会い」を作る場があれば、効果があるのか

などと思います。

篠原さん 子育て世代にとって鹿屋はすごく魅力的で、東京は経済面、住居面で厳しさを感じます。あそVIVAーは大好きで、帰省の度に訪れています。リモートワークも可能なので二拠点生活も良いかなと思うこともあります。



宮園 唯さん

宮園さん 都市部に住んでいてUターンを選んでいない人は、それなりの理由があると思っています。そういう人よりは、都会で生まれ育った人をターゲットにして、「都会らしいもの」を作るのではなく、「鹿屋にしかないもの」を重視した方が良い結果に繋がると 생각합니다。

坪水さん まちとして「何を一番推したいのか」が明確になると、私たち周りにPRしやすいです。また、YOSHIOROTTENさんなど、鹿屋出身のアーティストからアートやクリエイティブな、新たな流れが生まれると若い世代が帰ってくるきっかけになると 思います。



▲東京都渋谷区渋谷ヒカリエで、3人の地方創生支援官（P9 参照）も交えながら議論を行った。

市長 皆さん、貴重なご意見ありがとうございました。夢に向かって都会で活躍する皆さんの姿を誇らしく感じるとともに、鹿屋に対する愛着を変わず持つていただいていることを知り、改めて帰りたいと思えるまちづくりの必要性を感じました。お話を聞いて特に思ったのは「若者と女性にも選ばれるまち」を目指すうえで、キャリアアップや子育てが両立できる環境が大切で、東京と鹿屋を行き来しながら生活できる二拠点生活を促進する仕組みが重要だと思いました。また、魅力的な環境づくりに加えて、鹿屋の魅力をどのように発信していくのかという課題も見えてきました。皆さんからいただいた「鹿屋のここが良い」「鹿屋にはこれが足りない」といったご意見を今後の政策に生かしていきたいと思っています。

本日は本当にありがとうございました。